

# たぐすい

TAKUSUI  
No. 714

4

April.2016

発行 (一財)兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌



第38回全国海の子絵画展 水産庁長官賞 「深海魚」(加古川市立氷丘南小学校 吉澤 知輝さんの作品)

## なぎさ信用漁業協同組合連合会設立 五色町漁協壁画完成記念式典

《今月の海上安全標語》～ 有効活用！～

ペットボトル飲料は飲まれますか？ 飲んだ後、まさか海に捨ててはいけませんよね～。  
空気が入った状態のペットボトルは、もしもの時、浮く力として有効ですよ。

**ゴミじゃない！ ペットボトルで 助かる命** では、今月も安全操業で！



# ようこそ

「ずっと真っ直ぐに」

(ようそろとは航海用語で「宜しく候」の意。主に船を直進させるときにの号令として使われる)

## 我が家のビッグデータ

兵庫県漁業信用基金協会 主査 大西 正也



最近よくニュースで、「ビッグデータ」という言葉を耳にする。

「ビッグデータ」とは、事業に役立つ知見を導出するためのデータであって、量的には、典型的なデータベースソフトウェアが把握・蓄積・運用・分析できる能力を超えたサイズのデータを指すそうである。我が家にもビッグデータがある。単に「大きいデータ」のことであるが…。

18歳の頃からボクシングをテレビで見始め、その魅力に取りつかれ早20年。こつこつと試合を録画しつづけてきた。

押し入れに積まれたVHSの山、DVDの山、BDの山。ここにも時代の流れを感じる。

ある時、この貯蔵品の山を見てにんまりしていたが、ふと気が付いた。だれの試合がどこにあるのかさっぱりわからない…。

### 一念発起!

押し入れの奥からビデオデッキを引き出し、せっせとBD化を開始した。ビデオデッキは毎晩働きたばなし(実時間がかかるVHSはしんどい作業であった)。同時に、対戦リストのデータベース化にとりかかる。

### 膨大な時間を費やし、ようやく整理が完了した。

その試合数、1300試合以上。やっと我が家のビッグデータの全貌が明らかになった。選手名で検索もできる。はじめて数試合見返し、なつかしさと共に満足感に浸った。データは整理してこそ意味のあるものと改めて痛感した。

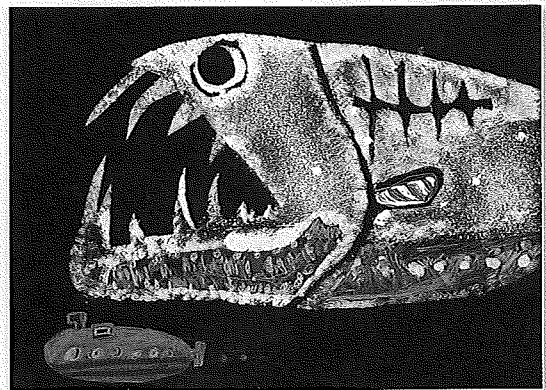
そんなある日、ふと目に留まったネットの記事。BDは特にデータが消えやすいようだ。それはまずい。次はどうデータを残すか。それに次々とデータは増え続けている。次は、管理の問題である。

仕事と同じようなことが我が家でも起き始めている。仕事同様、我が家のビッグデータは未だ道半ばである。

## CONTENTS

No.714 April, 2016

- 2 ようそろ
- 3 なぎさ信用漁業協同組合連合会 設立  
但馬地区ズワイガニ漁終了  
淡路地区漁青連と洲本市農業青年会 事業検討会
- 4 「淡路島サーモン」お披露目  
県国際交流協会「交流のつどい2016」
- 5 兵庫県第7次栽培漁業基本計画の策定について
- 6 第38回 全国海の子絵画展で県内の4作品が入賞
- 7 動画「命を守る運動—ライフジャケットで安全操業を—」完成  
「霧五戒」していますか
- 8 海上安全講習会をジャンボフェリー内で開催  
海難事故をなくそう
- 9 兵庫県農政環境部 農林水産局 水産課 & 漁港課 配席図
- 10 兵庫JCC通信
- 11 旬に想う  
大輪田塾だより
- 12 漁協事務所に壁画が完成  
5月9日は「救命の日」



### 表紙の言葉

### 「第38回全国海の子絵画展」

第38回全国海の子絵画展」では、兵庫から4作品が入選しました。表紙の絵は、水産庁長官賞を受賞した吉澤知輝さんの「深海魚」。

近年、テレビではダイオウイカや東京湾・駿河湾の深海魚の特集といった番組を目にすることがあります。まだまだ未知の世界であり、映像に映るのは驚くような形の生き物たちばかりで、つい見入ってしまいます。

「光の届かない冷たい海のなかはどうなっているのだろう…」

そんな好奇心を呼び起こしてくれるような絵でした。

# 兵庫・和歌山の信漁連が合併へ!

## なぎさ信用漁業協同組合連合会 設立へ

兵庫県信用漁業協同組合連合会（ＪＦ兵庫信漁連・山田 峰人会長）と和歌山信用漁業協同組合連合会（ＪＦ和歌山信漁連・榎本 秀春会長）は4月6日（水）、大阪市内で合併に向けた仮調印式を行いました。実現すれば、県域を超えた信漁連間の合併として全国初の事例となります。

合併後の名称は、両信漁連職員の中から出された「なぎさ」を採用し、「なぎさ信用漁業協同組合連合会（ＪＦマリンバンクなぎさ）」となる予定であることが発表されました。

※詳しくは来月発行の拓水5月号（No.715）で掲載します。

（文：兵庫県水産振興基金）

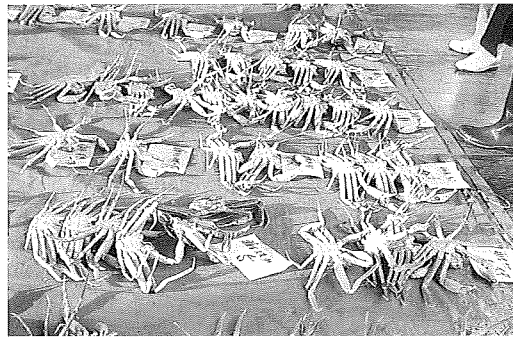
兵庫信漁連・和歌山信漁連 合併仮契約調印式



（写真提供：ＪＦ全漁連）

### 但馬地区

## ズワイガニ漁終了



昨年11月6日に解禁されたズワイガニ漁は、3月20日（日）で漁期を終え、最終セリが21日（月）、柴山漁港と浜坂漁港で行われました。

今漁期の総漁獲量は999トン（前年比84.4%）

で前年度漁獲量を下回りました。また、オスガニ（松葉ガニ）・メスガニ（セコガニ）・ミズガニ（若松葉ガニ）の漁獲量はそれぞれ482トン（前年比83.4%）・383トン（前年比84.9%）・135トン（前年比86.2%）でした。

漁獲金額は、特にオスガニ（松葉ガニ）の単価が大きく伸び、漁獲金額が約30億9千万円（前年比112.6%）、キコ単価6、407円（前年比135%）となり、メスガニ（セコガニ）・ミズガニ（若松葉ガニ）を含めた総漁獲金額については約42億5千万円（前年比110.3%）となりました。

今後、但馬地区の沖合底びき網漁は、ハタハタ、エテガレイ、ホタルイカなどの水揚げが5月末日まで続きます。

（文：兵庫県水産振興基金）

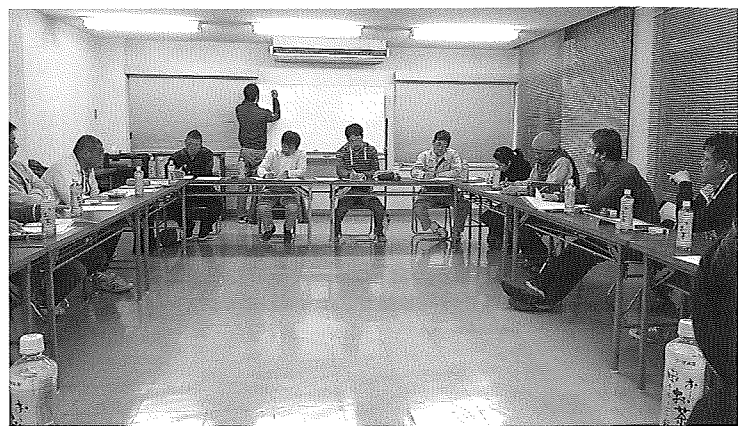
## 淡路地区漁青連と洲本市農業青年会が 事業検討会を開催

3月18日（金）、洲本市において「第1回淡路漁青連と洲本市農業青年会事業検討会」が行われ、両団体の会員、行政担当者ら約20名が、共同で開催する事業の検討を行いました。

この会議は、淡路地区漁協青壮年部連合会 山崎大輔会長（ＪＦ淡路島岩屋）と洲本市農業青年会議 土屋 淳会長が別の会議で同席した際、「いっしょに淡路島の農林水産業を盛り上げよう」と意気投合し、共同で出来る具体的な活動を考える場として設定されたものです。

山崎会長は「前回に引き続き、熱の冷めないうちに様々な意見を出し合って形にできれば」と挨拶し、土屋会長は「折角得た機会なので実現させたい」と意欲をみせました。

会議では、会員が共感できるもので持続性のあるものをコンセプトに、様々な意見が出され、活発な議論がありました。その結果、この夏に食育をテーマに淡路島内で開催することが決まり、4月には具体的な案の策定に入ることが確認され閉会しました。



（文：兵庫県水産振興基金）

## 「淡路島サーモン」お披露目！

JF福良（前田 若男組合長）は、2月28日（日）、同JF主催「うずしお朝市」にて、平成27年度から養殖試験に取り組んでいるサクラマスに「淡路島サーモン」と名付けて、振る舞いが行われました。

サクラマスは「溪流の女王」と称されるヤマメが海に下った（降海型）呼び名で、淡路島では馴染みの薄い魚ですが、日本海側では、富山県名産「鱒ずし」に使われるなど高級食材として知られています。同JFは、昨年11月末に



体長15cm、重さ300g程度の幼魚3,000匹を海上いけすに導入したところ、わずか3ヶ月で大きいものは体長30cm、重さ1kg以上に育ちました。また、一般的に天然サクラマスには寄生虫がいることがあるため、一度冷凍したものが生食用として流通していますが、養殖のものには寄生虫がいる可能性は極めて低く、冷凍せずとも刺身として食べることができるとのことです。

振る舞い当日は200食が準備され、刺身と炙りがセットで提供されました。事前に新聞の折り込みで宣伝をしていなかったのですが、振る

舞い前には多くの方が行列をなし、準備された200食は瞬く間になくなりました。気になる味ですが、刺身は脂がのっているにも関わらずとてもあっさりしており、さわやかな旨みが口いっぱいひろがりしました。また、刺身を炙りにすることで食感が変わり、焼くことで旨みが凝縮され、また違ったおいしさを感じることができました。

同JFは「淡路島3年とらふぐ」に次ぐ、桜が咲く時期の名産品として「淡路島サーモン」の知名度アップを目指しています。

（文：兵庫県洲本農林水産振興事務所 所水産課）

## 県国際交流協会「交流のつどい2016」 関西領事団や友の会会員が神戸市に集まる



合唱し、齋藤理事長の挨拶で閉宴となりました。

来賓で登壇された兵庫県 井戸 敏三知事は「インバウンド客数は、東京で約1,780万人、大阪933万人、京都481万人に比べ、神戸は115万人。大変残念な結果だった。この差は何なのか？ 神戸駅に降り立った外国の方々に速やかに、兵庫の魅力を伝え、スムーズに案内できる人材の育成や、受け入れ体制などの大切さを痛感した。皆さんの力添えをお願いしたい」と挨拶され、観光都市神戸のPRに努められました。また、JF兵庫漁連と当基金は、お楽しみ抽選会の景品に「兵庫のり」を全員に提供し、大変喜ばれました。ノリの袋に「兵庫のりを買いま賞」とシールが貼られていたのは齋藤理事長の感謝の演出だったようです。

（文：兵庫県水産振興基金）

（公財）兵庫県国際交流協会（略称HIA・齋藤 富雄理事長）が主催する「交流の集い2016」が、3月6日（日）、神戸市内で開催され、関西領事団をはじめ県内で活躍する外国人コミュニティや二国間団体、HIA友の会会員など150名が参加しました。この集いは、HIAが本年度行事の締めくくりと、翌年へ第一歩を踏み出す出発点として、毎年、この時期に開催している国際交流パーティーで、今回はJF兵庫漁連、水産振興基金からも出席しました。オープニング演奏の後、司会の西條 遊児氏が開宴を告げ、主催者（友の会会長）及び来賓挨拶、タイ王国総領事による乾杯がありました。他にお楽しみ抽選会や、移情閣コーラスが「おぼる月夜」などを披露し、最後に参加者全員で「さくらさくら」を



全員で合唱し盛り上がりました

# 兵庫県第7次栽培漁業基本計画の策定について

## 兵庫県農政環境部農林水産局水産課

本県では、攻めの農林水産業の展開へ向けて「ひょうご農林水産ビジョン2025（H28～H37）」を3月に策定・公表しました。水産業・漁村のめざす姿の実現に向けた基本方向を「豊かな海の再生と水産業・浜の活性化」とし、施策展開の重要な1つとして栽培漁業の推進を掲げています。その栽培漁業が水産資源の維持増大に大きな役割を果たすため、7年間（H28～H34）の基本計画「兵庫県第7次栽培漁業基本計画」を策定しました。各漁協には既にご送付しているところであり、その概要を紹介します。

### 1 まえがき

栽培漁業は卵から幼稚仔までの減耗の激しい時期を人の管理下に置いて生産・育成し、放流することによって積極的に資源を増大させ、漁獲の増加を図る施策です。本県においても1960年代後半から開始され、現在では漁業の振興に大きな役割を果たしています。

近年の栽培漁業に関する社会的な動きでは「瀬戸内海環境保全特別措置法の一部を改正する法律」が昨年10月に公布・施行され、「瀬戸内海を豊かな海とする」ことが基本理念に定められました。具体の施策として「水産動物の種苗の放流に努めること」が盛り込まれ、本県もこれまで以上に、県産水産物の安定供給に資するため、栽培漁業の一層の推進に努めます。

### 2 基本的な指針及び指標について

主に、①本県の栽培漁業に関する役割分担（魚類：県、甲殻類：協会、貝類：共同）、②広域種（県域を越えて回遊するサワラなど）の取扱い、③栽培漁業技術の養殖用種苗生産への活用（主にアサリ）、④経費負担（皆様にもご協力いただいた種苗の有償化）、⑤漁場整備事業や資源管理と連携した資源造成型栽培漁業の推進などについて記載しています。

### 3 対象種と放流数量について

放流対象種は、漁獲実態、技術開発の進捗状況、資源評価及び資源管理の取組などを考慮して以下の18魚種を選定しました。このうち、マダイ、ヒラメなど12魚種（下線付き）について計画的に種苗生産と放流を行うこととして、7年後の目標値を設定しました。

#### 〈瀬戸内海区〉

広域種：サワラ、トラフグ

魚類：マダイ、ヒラメ、マコガレイ、オニオコゼ、カサゴ※、キジハタ※、メバル類

甲殻類：クルマエビ類、ガザミ

貝類：アワビ類、サザエ、アサリ※、ウチムラサキ

その他：アカウニ※、ナマコ

#### 〈但馬海区〉

広域種：ヒラメ

魚類：マダイ、ヒラメ、オニオコゼ、カサゴ※、キジハタ※

甲殻類：ズワイガニ

貝類：アワビ類、サザエ

※：7次計画で新たに目標値を設定

### 4 技術開発やその他必要事項について

キジハタ、カサゴ、アサリなど種苗生産ニーズの強い新規魚種の安定生産はもちろんのこと、既存魚種の生産コストの低減、疾病防除に関する技術開発を推進するとともに、効果的な栽培漁業の推進に向けて中間育成・放流マニュアルを作成します。

近年はオニオコゼなどで漁獲量の増加に関する情報が寄せられるなど、栽培漁業の効果を肌で感じただけの魚種も増えているようです。瀬戸内海、日本海とも、豊かな海域環境のもと将来にわたって持続的に利用できる水産資源の増大を目指し、これからも栽培漁業に関わる全ての機関と連携して栽培漁業を力強く継続していきます。



オニオコゼ種苗（約15mm）



ガザミ種苗（G1）



アサリ種苗

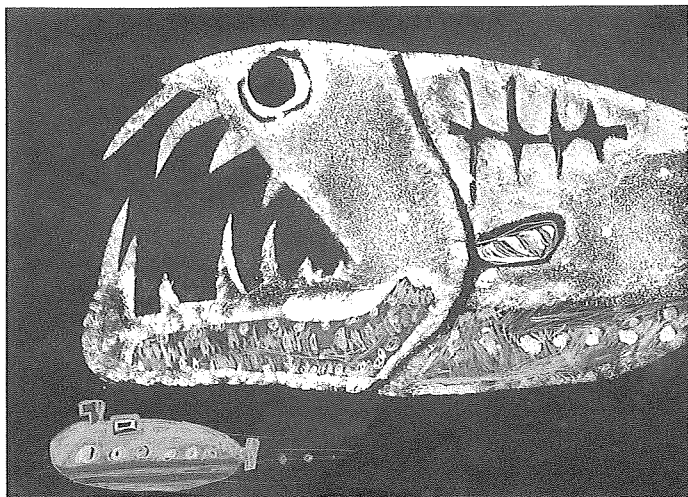


# 県内の4作品が入賞!

昨年10月に決定した「ひょうご海の子絵画」受賞作品(拓水No.712号:H28. 2月号参照)のうち、特に優秀であった10名の作品がJF全漁連主催「第38回全国海の子絵画展」に出品され、審査の結果、加古川市立氷丘南小学校5年 吉澤 知輝さんが「水産庁長官賞」を、神戸市立唐櫃小学校3年 松岡 結斗さんと神戸市立西山小学校6年 山田 茉瑚さんが「教育美術振興会理事長賞」、学校法人瀧川学園滝川第二中学校1年 伊原 碧さんが「農林中央金庫理事長賞」を見事に受賞しました。

今回の絵画展は、全国約22,000点の応募の中から、各県で選ばれた128点が全国展に出展され審査が行われました。表彰式は東京・コープビルで3月28日(月)に開催され、特別賞入賞者28人の一人ひとりに賞状が手渡されました。

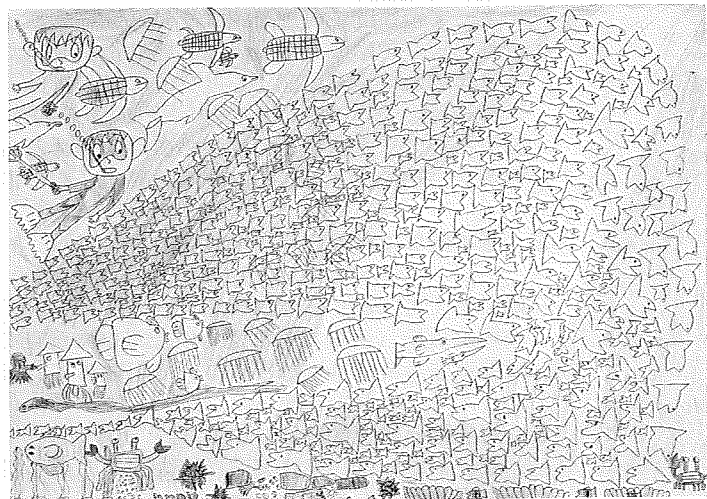
(文:JF兵庫信漁連)



「深海魚」

水産庁長官賞

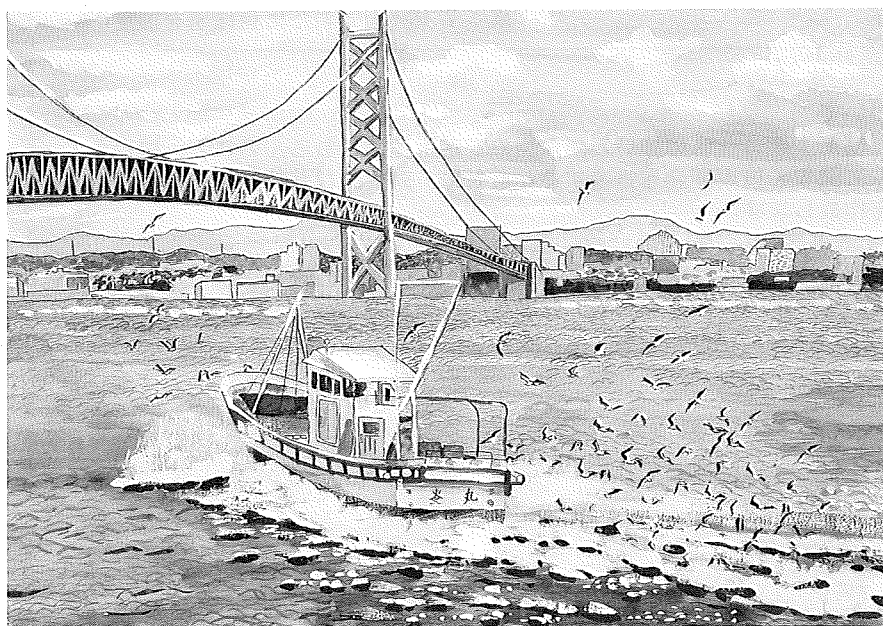
加古川市立氷丘南小学校5年 吉澤 知輝さん



「すいすい泳ぐ魚たち」

教育美術振興会理事長賞

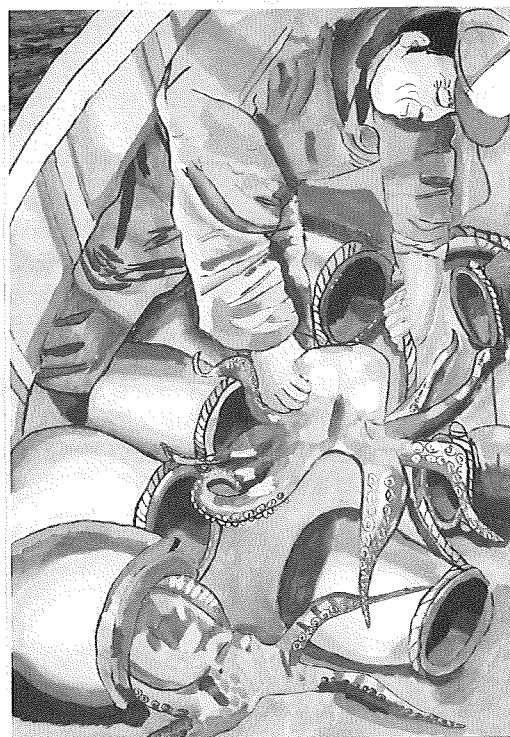
神戸市立唐櫃小学校3年 松岡 結斗さん



「明石海峡を行く漁船」

教育美術振興会理事長賞

神戸市立西山小学校6年 山田 茉瑚さん



「たこつぼ漁」

農林中央金庫理事長賞

学校法人瀧川学園滝川第二中学校1年 伊原 碧さん

# 動画「命を守る運動」ライフジャケットで安全操業を」が完成！

## 海上安全講習会などで上映中！

JF兵庫漁連・JF共水連兵庫・兵庫県内海漁船保険組合（公財）ひよっこ豊かな海づくり協会・（一財）兵庫県水産振興基金は、この度、ライフジャケットの着用推進を図るため、動画を作製し、海上安全講習会などで上映しています。

この動画は、各地で開催される海上安全講習会とはもとより、JF並びに系統団体が開催する会議等において気軽に上映してもらいたいとの思いで制作しました。



ライフジャケット紹介の1シーン



漁業者の方も出演されています

気になる動画の中身ですが…

- ・ライフジャケットの重要性
- ・行動分析学から考えたライフジャケットの着用推進についての説明
- ・ライフジャケットの種類、浮力合羽について
- ・ライフジャケットのタイプと、動画による作動状況の紹介
- ・出演者は、漁業者・漁協系統団体職員の方
- ・皆さんをはじめ、安全講習会でお世話になっている神戸運輸監理部 筒井 宣利調 整官、神戸海上保安部の潜水士の皆さん
- ・といった内容が収録されており、時間は約12分です。

国では、平成29年夏頃から、小型船舶におけるライフジャケットの着用義務範囲を拡大するという施策の方向性が決められました。これまでは、「水上オートバイの乗船者」、「12歳未満の小児」、「一人で漁を行う乗船者」にライフジャケットの着用義務がありましたが、今後は、原則として「船室の外にいるすべての乗船者」が着用義務対象となります。漁船では、乗船人数に関わらず、すべての人が、ライフジャケットを着用しましょう！

## 霧が発生しやすいこれからの季節…

# 「霧五戒」していますか？

瀬戸内海・紀伊半島沿岸は、春先から梅雨期にかけて濃霧が発生しやすく、これに伴う衝突・乗揚げ海難が発生しやすい状況にあります。このため、近畿・四国地方海難防止強調運動の一環として、官民が一体になり「霧海難防止キャンペーン」が実施されます。第五管区海上保安本部では、霧の発生が多い4月～6月の3ヶ月間、同キャンペーンに取り組み、霧発生時等視界制限時の遵守事項をまとめた「霧五戒」の周知・指導を実施しています。

(情報提供：第五管区海上保安本部・JF兵庫漁連)

## 霧五戒

1. 気象状況を早期に把握すべし
2. 船舶間のコミュニケーションを促進すべし
3. 航法を守るべし
4. 自動操舵装置を適正に使用すべし
5. 早期に避泊すべし



### 霧五戒していますか？

#### Five Requests to Navigation in The Dense Fog

1. 気象状況を早期に把握すべし *Grasp weather conditions early*  
霧の発生・増悪を要領し、早期に気象情報を入手し、気象状況を把握すべし。  
Obtain weather information early and grasp the weather conditions.
2. 船舶間コミュニケーションを促進すべし *Promote communication between vessels*  
霧中航行時は、船舶間での安全な航行を確保するために、船舶間のコミュニケーションを促進すべし。  
When navigating through dense fog, it is necessary to promote communication between vessels to ensure safe navigation.
3. 航法を守るべし *Observe conduct of vessels in restricted visibility*  
霧中航行時は、船舶間の安全な航行を確保するために、航法を守るべし。  
When navigating through dense fog, it is necessary to observe the conduct of vessels in restricted visibility to ensure safe navigation.
4. 自動操舵装置を適正に使用すべし *Use an automatic pilot properly*  
霧中航行時は、自動操舵装置を適正に使用すべし。  
When navigating through dense fog, it is necessary to use an automatic pilot properly.
5. 早期に避泊すべし *Anchorage early in the safe sea area*  
霧中航行時は、早期に安全な海域に避泊すべし。  
When navigating through dense fog, it is necessary to anchor early in a safe sea area.

霧五戒の周知・指導を実施しています。

近畿・四国地方海難防止強調運動推進連絡会議  
事務局：公益社団法人 神戸海難防止研究会  
公益財団法人 海上保安協会 神戸地方本部

# 海上安全講習会をジャンボフェリー内で開催 ～イカナゴ漁最盛期の明石海峡を大型船で体験～

3月8日(火)、JF兵庫漁連 共水連兵庫事務所、兵庫県内海漁船保険組合(公財)ひょうご豊かな海づくり協会、(一財)兵庫県水産振興基金の主催、国土交通省神戸運輸監理部、ジャンボフェリー株式会社協力の協力により、第5回目となる「大型船での乗船研修会」が開催されました。

1日約800隻の船舶が通航する日本有数の輻輳海域である明石海峡において、大型船と小型漁船の双方の視点から航行感覚の違いを体験するとともに、大型船の操船の困難さを理解することにより、海上交通ルールの遵守、適切な見張り等、より一層の安全操業・航行に結びつけることを目的に開催しました。

漁業関係の参加者8名は6時に神戸を出港する高松行きフェリーに乗り込み、神戸港出港時からブリッジに上がり明石海峡を通過するまでの間、見学を行いました。

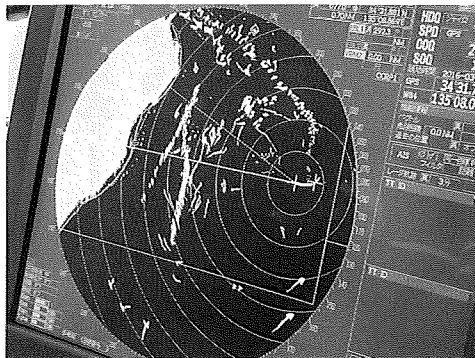
当日はイカナゴ漁解禁2日目。明石海峡航路東側の出入航路をふさぐように漁船が密集し操業が行われており、船内では神戸港出港と同時に明石海峡周辺の漁船情報を入力し進路計画が検討されました。本来の航路を大きく外し漁船の密集海域を避けて航行する進路を船長が決定するも、大きく迂回する頃には、予定進路上に漁船が集まりだし再度進路を変更するなど、緊迫した雰囲気の中での見学となりました。

明石海峡通過後は船内において、「船曳網漁業では網船より運搬船の方が思いがけない動きをするので怖い思いをすることがある」、「漁具を示すブイは白に比べオレンジ色のほ

うが格段に良く見える」などの意見が交わされ、明石海峡周辺の漁法等についての質疑がなされるなど活発な意見交換がおこなわれました。

最後に双方から「お互いに海で仕事をやる立場を理解し、協力しあつて事故のないように努めよう」と確認して終了しました。

(文：JF兵庫漁連)



レーダーに映るイカナゴ漁船団



針路変更など難しい判断を迫られました

## 海難事故をなくそう!

**ライフジャケットを  
着用しよう!**

膨張式ライフジャケットは定期的なメンテナンスが必要です!  
最近ではボンベが下部に配置されたタイプもあり、首回りが楽になっています。  
是非、着用してください!



ライフジャケット(膨張式)  
モデル：JF兵庫信漁連  
河野 ちなつさん

**～安全をサポート～  
浮力合羽はお持ちですか?**

浮力合羽はJF兵庫漁連が開発したもので、皆様の安全をサポートします。

浮力は充分にあり、動きやすいように工夫されています。



まだお持ちでない方は是非!

※国土交通省の型式承認試験基準に合格したものではありませんので、一人乗りの漁船の場合、ライフジャケットを着用してください。

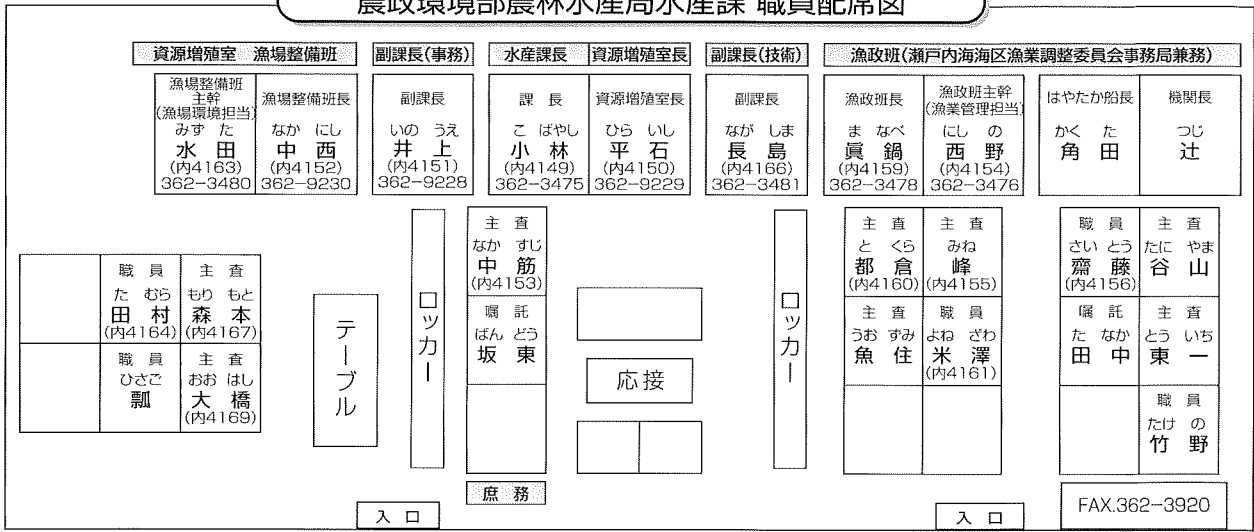
モデル：JF淡路島岩屋東根 壽組合長

ライフジャケット・浮力合羽の購入は  
所属JFかJF兵庫漁連資材部(078-942-9272)までお問い合わせください



# 兵庫県農政環境部 農林水産局 水産課 & 漁港課 配席図

## 農政環境部農林水産局水産課 職員配席図



### 漁場整備班(漁場環境担当)

- ①漁場整備開発事業に関する事
- ②豊かな海の再生に関する事
- ③漁場環境の保全に関する事
- ④離島漁業の支援に関する事
- ⑤水産物の安全確保に関する事
- ⑥保護水面の管理に関する事

### 漁場整備班(水産普及担当)

- ①水産業の試験研究に関する事
- ②水産業の普及指導及び普及指導員の資質向上に関する事
- ③水産物の流通加工に関する事
- ④水産関係統計の管理に関する事
- ⑤栽培漁業の推進に関する事
- ⑥養殖業の振興に関する事
- ⑦(公財)ひょうご豊かな海づくり協会に関する事

### 漁政班(庶務)

- ①課の庶務に関する事
- ②総務課との連絡に関する事
- ③文書及び公印の管理に関する事
- ④但馬水産事務所との連絡調整に関する事
- ⑤課内各班に属さないこと

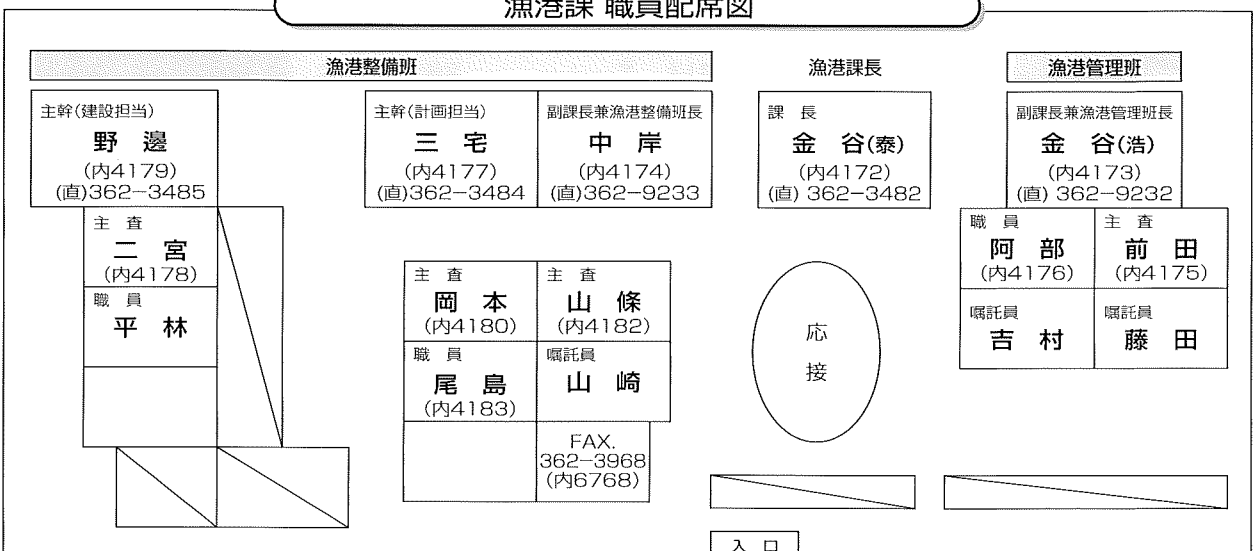
### 漁政班(組合指導担当)

- ①水産業協同組合の指導、監督に関する事
- ②漁業協同組合の合併推進及び経営基盤強化に関する事
- ③水産制度金融に関する事
- ④漁業共済に関する事
- ⑤漁業信用保証に関する事
- ⑥産地市場に関する事
- ⑦(財)兵庫県水産振興基金に関する事
- ⑧浜の活力再生プランに関する事
- ⑨漁業コスト構造改善緊急対策に関する事

### 漁政班(漁業管理担当)

- ①水産行政の企画立案及び調整に関する事
- ②漁場計画立案及び漁業免許登録に関する事
- ③漁業の許可及び漁業調整に関する事
- ④内水面漁業の振興に関する事
- ⑤海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会に関する事
- ⑥漁船に関する事
- ⑦漁船損害等補償法に関する事
- ⑧漁業取締りに関する事
- ⑨遊漁船業の適正化に関する事
- ⑩遊漁対策に関する事
- ⑪漁業無線局に関する事
- ⑫水産資源管理対策に関する事
- ⑬漁業に係る災害関連情報に関する事
- ⑭海洋開発事業と漁業の調整に関する事

## 漁港課 職員配席図



### 漁港整備班

- ①漁港及び漁港海岸の整備計画及び調査に関する事
- ②漁港施設用地の計画及び調査に関する事
- ③海岸統計に関する事
- ④県管理の漁港及び漁港海岸事業の実施に関する事
- ⑤市町管理の漁港及び漁港海岸事業の指導監督に関する事
- ⑥漁港の災害復旧に関する事
- ⑦漁業構造改善事業に関する事
- ⑧水産物の流通加工対策に関する事
- ⑨共同利用施設の管理運営に関する事
- ⑩共同利用施設の災害復旧に関する事
- ⑪漁港漁村における地域活性化施策推進に関する事
- ⑫漁港港勢調査に関する事

### 漁港管理班

- ①漁港、漁港海岸利用の占使用事務に関する事
- ②漁港及び海岸保全区域における国有財産に関する事
- ③県管理漁港財産の取得、管理及び処分に関する事
- ④漁港及び漁港海岸の指定及び管理に関する事
- ⑤漁港及び漁港海岸の事業事務に関する事
- ⑥プレジャーボート対策の総合調整に関する事
- ⑦文書及び公印の管理に関する事
- ⑧課内他班に属さないこと

## 地域農畜産物の魅力をPR 食いしん坊マラソン大会開催

JA兵庫六甲

2月21日(日)に北神戸田園スポーツ公園で、JA兵庫六甲合併15周年記念「食いしん坊マラソン大会」を開催し、1,000名を超える組合員、地域住民の皆さんがランナーとして参加しました。

この大会では、合併15周年を迎えたJA兵庫六甲が地域の皆さんとの絆を深め、地域の農畜産物の魅力をPRし、もっと身近に感じてもらうことを目的に開催しました。

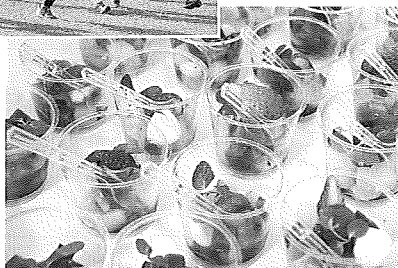
小中学生の部やグループで走る駅伝の部など9つの部を設け、幅広い層の人が参加しました。目玉は地域農畜産物を使用した料理を食べながら家族で走る「食いしん坊ファミリーの部」で、「旬野菜たっぷりミネストローネ」「冬野菜と神戸ポークの豆乳クリームシチュー」「三田米を使った農家風パエリア」「二郎いちごのあんみつ風デザート」の計4品を用意しました。

部会や女性会の皆さんによる炊き出しや移動販売車による野菜の販売などの「地産地消ブース」も設置し、ランナー以外にも、たくさんの人たちが来場しました。

参加したランナーは「おいしい料理を食べながら走るマラソンは珍しいね」「親子で走れて楽しかった。また開催してほしい」と笑顔で話しました。



▶子どもたちも元気いっぱい走りました



▶二郎いちごのあんみつ風デザート

<http://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/>

## 学んで、気づいて、つながって ～地方消費者グループ・ フォーラム in 和歌山～

2月8日(月)、プラザホープ 大ホール(和歌山県和歌山市)で「平成27年度 地方消費者グループ・フォーラム in 和歌山」が開催され、「学んで、気づいて、つながって～すべての地域で安心してくらししていくために～」をテーマに、地域で消費者問題に携わる消費者団体、市民、行政関係者など197人が集いました。このフォーラムは、地元の消費者団体等による実行委員会と消費者庁との共催で実施され、相互に情報交換を行い、交流・連携を深めることを目的としています。

各団体・行政の活動内容が展示された「壁新聞交流会」では、活発な交流が行われました。また、消費者庁 板東 久美子 長官の取り組み報告のあとに行われた壁新聞出展団体の5分間リレートークでは、神戸市市民参画推進局市民生活部消費生活課、コープこうべ地域活動推進部、適格消費者団体NPO法人 ひょうご消費者ネットなどの活動紹介がありました。また、「『つながって』いくために、自分たちができること、したいこと」をテーマにグループ討議が行われ、今後の地域活動の連携の広がりを感じるつどいになりました。

▶グループ討議で交流を深めました



板東長官の報告に聴き入る参加者

<http://www.coop-hyogo-union.or.jp/>

お詫び

3月発行の拓水第713号について下記の誤りがありました。関係者の皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。ここに訂正して、お詫び申し上げます。

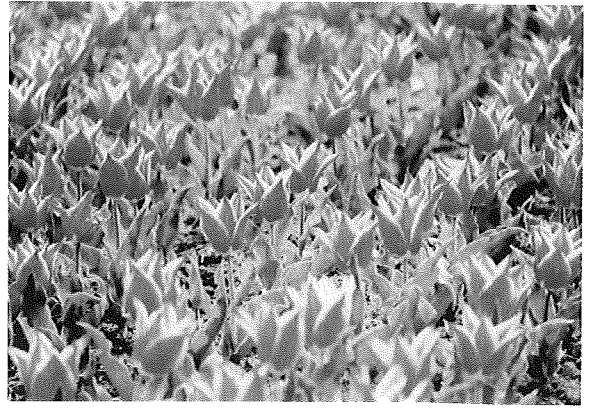
10頁 海難事故をなくそう！における浮力合羽のモデルについて

(誤) 兵庫県漁業共済組合 右柳 加奈子さん → (正) 兵庫県漁業信用基金協会 右柳 加奈子さん

# 旬

想う

写真と文  
遊方子



## 花を愛でる

◆花を愛でて観賞する行為は、世界各国に見られるが、サクラを見て酒を酌み交わす風習は日本独特のものらしい。宮廷貴族の遊びとして奈良・平安時代に始まり、鎌倉時代に武家の間にも流行し、室町期になり京都内外に多くの桜の名所が知られるようになる。貴族や武家階級の遊びと、農民の春山行きの風習が溶け合って、楽しい宴として定着した。それが今日の花見だという。人が集まれば商売に繋がりが、彼方此方に人工的にサクラの名所が作られる。江戸末期、葉より先に大きな花が満艦飾と咲き、豪華で賑々しい桜の代表的品種「ソメイヨシノ」が出現する。活着が比較的容易なため、全国的に広く植えられた。

◆桜前線の開花予想表が新聞に載る。私鉄駅には近郊の桜の開花状況が貼られる。全国の気象台や測候所付近にあるソメイヨシノ3本を標準木に指定、それが五輪開いたら開花宣言となる。此の標準木は株元が荒れるのを警戒して公表していない。日本列島は南北に長く、地域で桜の品種も異なるが、沖縄では琉球ヒカンザクラ、石狩平野以北はエゾヤマザクラ、根室ではチシマザクラを標準木にして予想する。以前、2月の沖縄で濃いピンク色の花が楽しめたが、南から桜前線を追って北へと旅をすれば、長期間の花見を楽しむ事ができる。

◆桜を訪ねて信州を巡るツアーに参加した。安曇野で一泊し信州高山村のシダレザクラを見ようというのである。高速道路が整備されて、関西からも気軽にに出掛けられるのは嬉しいことで、北信州・上高井郡高山村へ。周辺一帯に樹齢六百年というシダレ桜の巨木が沢山ある。殆んどが開花に数日という蕾で、百五十歳の樹だけが八分咲き、五百歳のエゾヒガンが老樹ながら満開で、見事な眺めを満喫。一杯の花が満面に笑みを浮かべ、遙々と来た我らを歓迎しているように思えた。帰路、コヒガンザクラの高遠城址公園も花見客で溢れていた。

◆一九六二年、三島北高校のオオシマザクラと小石川植物園のエゾヒガンを交配してソメイヨシノが作られたと、三島市の顕彰碑にある。最近、各地のソメイヨシノをDNA検証をした結果、単一の品種であると確認された。明石公園の桜もソメイヨシノで、気を合わせる如く一斉に花を開く。サクラの咲く頃の曇り空を「花曇り」というが、四月は荒れた天気が続く。日本の上空に低気圧が発達し、寒気と暖気が激突して嵐を生む。「花開いて風雨多し」と端的に表現される。嵐に耐えて咲き、風雨に晒されるサクラに、深く人生を重ね合わせて「世の中は月にむら雲、花に風、思うに別れ、思わぬに添う」という。名言。

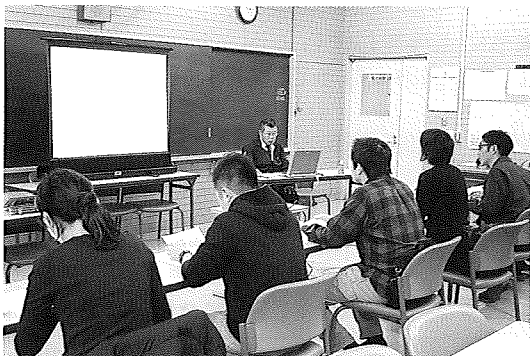
## 大輪田塾だより

### のり養殖について

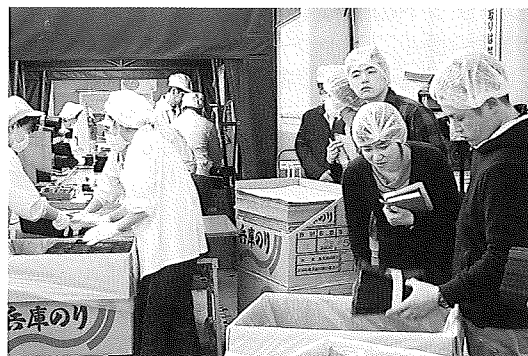
3月講座は、8日(火)にJF兵庫漁連のり流通センター(播磨町)を訪れ、のりの合同検査や保管倉庫の見学のほか、のり海藻事業本部高瀬 博文本部長から「のり養殖と今後のあるべき姿」と題した講義がありました。

同センターの合同検査場での見学は、のりの等級や検査の方法・手順、倉庫での出入庫作業について同事業本部のり共販部 藤原 紘希主任から説明があり、塾生は熱心に質問したり、メモを取っていました。

高瀬本部長は講義の中で、のり養殖の歴史や共販の現状のほか、海外ののり流通事情など幅広い内容に触れられたあと「色落ち対策を含む漁場再生、経費削減、新商品開発、市場開拓」の推進を強く唱えられました。これまでのり養殖に関係したことのある塾生にも初めて聞く内容が多かったようで、改めてのりについて学ぶ良い機会となりました。



のりに関する幅広い内容を学ぶことが出来ました



合同検査場を見学



# 漁協事務所に壁画が完成 JF五色町で完成記念式典

3月30日(水)、洲本市五色町鳥飼浦のJF五色町(福島 富秋組合長)で、JF事務所側面に巨大壁画が完成し、関係者ら約40人のほか漁業者も集まって記念式典が行われました。

この壁画は、洲本市が大学と連携し地域活性化を図ろうと実施する「洲本市域学連携事業」の一環で、同JFが京都造形芸術大学(京都市)、NPO法人 淡路島アートセンターと連携し、「漁師」という仕事の素晴らしさを多くの人に知ってもらい、将来的には漁業者を増やしたいという目標を掲げた「鳥飼浦プロジェクト」の第一弾として制作されたものです。デザインは、同大学の募集で選ばれた作品をもとに、学生とJF関係者らが意見を交わし何度も修正を重ねたもので、高さ約7.7メートル、幅約16.5メートルの壁に今年2月から描き始め、この3月に完成しました。



式典で福島組合長は「五色町のサワラ・ハモ・タコと地元の祭りである船だんじりが描かれていて、漁業を取り巻く環境は厳しいものがあるが、この絵

のように活気のある浜を目指して今後も前を向いて進んでいきたい」と挨拶しました。

壁画披露ではデザインをした同大学情報デザイン学科1回生の山下芽久さんをはじめとする3名が挨拶をし、壁画下部にタイトル「五色囃子」のプレートを取り付けました。山下さんは「和太鼓の音色に魚が吸い寄せられ、豊漁に恵まれることをイメージしました。若手漁業者をモデルにし、初めて訪れた時に夕日が綺麗だったので盛り込みました。うまく描けたと思います」と満足そうに話されました。(文：兵庫県水産振興基金)



壁画の前に記念撮影



「五色囃子」のプレートを取り付けました

## 5月9日は「救命の日」!!

5月9日を英語で表記すると→9. May  
9. Mayの“9”は日本語で「きゅう」  
“Ma y”の読み方は「メイ」

ということは…

9. May → きゅう + メイ → きゅうメイ → 救命!!

よって、兵庫の漁協系統団体の担当者が独自に5月9日を「救命の日」にします!  
5月9日「救命の日」には自分の命を守るため、次の3点を実践しましょう

### 1：ライフジャケットの点検を!

もしもの時にライフジャケットが性能を発揮できるように点検をしましょう。  
(破れていないか、膨張式はボンベが錆びていないか、使用済みになっていないかなど)

### 2：落水時の対応を!

落水時に船に揚がれるように縄梯子などを吊るす、連絡手段(携帯電話など)の確保

### 3：海のもしものは118番!

海上での緊急時には118番へ

皆さんに広がればいいな～

